

『国語関係記事台帳』について

国立国語研究所 情報資料研究部 井上 優・中曾根仁・辻野都喜江

国立国語研究所では、昭和24年から「ことば」に関する新聞記事を収集、台紙にはりつけて製本したものを『国語関係記事切抜集』（以下『切抜集』）として図書館に蓄積・保存している（現在757冊、総記事数70,000件程度）。1989年度まではかなりの種類の新聞を切り抜きの対象としていたが、1989年度以降「朝日」、「読売」、「毎日」の3紙に限定している（効率的で幅広い記事を収集する方法の再構築が必要）。

収集記事の内容は時期によって多少の変動があるが、現在は次の基準で収集している。

- ・新聞発行当時における日本語事情を示した記事
- ・日本人の言語能力・言語意識を反映している記事
- ・日本人と外国語、外国人と日本語、海外における日本人の言語生活に関する記事
- ・国語政策（国語審議会等）に関する記事
- ・国立国語研究所（の研究内容）に関するもの

『切抜集』に収録の新聞記事は日本語及び日本人の言語生活の変化を見る上で貴重な資料であるが、量が膨大なためその活用は必ずしも容易ではない。そこで、情報資料研究部第1研究室では、『切抜集』を活用する基礎として、『切抜集』所収の記事に関する基礎的情報を記載した『国語関係記事台帳』（以下『台帳』）を作成することにした（現在「桐 Ver. 3」上で作成中）。

入力情報（発表後1991年7月に若干の修正を加えた）は以下の通り。

- | | | |
|----|----------|---|
| 1 | <記事番号> | 台紙番号4桁+枝番1桁 |
| 2 | <年> | 西暦4桁 |
| 3 | <月日> | 月2桁, 日2桁 |
| 4 | <新聞名> | 新聞の名称（『切抜集』では台紙にゴム印でおしてある） |
| 5 | <朝夕> | 「朝」、「夕」のどちらかを記入, 日（月, 季）刊紙は「朝」 |
| 6 | <地方版> | 「大阪」版, 「名古屋」版の場合に記入 |
| 7 | <ページ> | |
| 8 | <掲載面> | 面の上を書いてある名称（『切抜集』では「<p. __ 掲載面>」） |
| 9 | <執筆者属性> | 「内部」「投書」「依頼」から選択 |
| 10 | <氏名> | 依頼記事の執筆者, 投書の投稿者, インタビューを受けた人（インタビュー記事）, 質問記事の回答者 |
| 11 | <欄名・見出し> | 欄名（『切抜集』では「p. __<欄名>」）及び見出し |
| 12 | <備考> | 見出しだけでは内容がわからない場合に記入 |
| 13 | <分類> | 「現代日本語事情」, 「一般」, 「海外」から選択 |
| 14 | <キー> | 内容の細分類（14種） |
| 15 | <新キー> | キーワード候補を記入 |
| 16 | <採用> | 最終的にデータベース化するか否か |
| 17 | <入力日> | |
| 18 | <入力者> | |
| 19 | <作業情報> | 疑問点等 |

詳細は『国立国語研究所：研究報告集13』に執筆する予定。